

10月1日～12月31日

『ごみ袋の指定』を試行します

増えつつけるごみと不十分な分別による、処理費用の増大や収集、処理作業の困難、複雑化は大きな問題となっています。

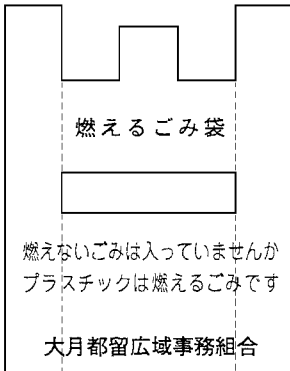
これらの減量化、収集作業等の安全確保のため、都留・大月両市と広域事務組合で協議し、10月1日からごみ袋の指定の試行をすることにしました。

指定袋は、燃えるごみ用は排出者のプライバシー保護のため乳白色半透明とし、燃えないごみ用は分別の確実化と危険物などの確認のため透明のものとしました。

試行期間の指定ごみ袋は、無料配布とし、ごみの出し方などは次のとおりです。

ご協力をお願いします。

(燃えるごみ袋)



※乳白色・半透明・ポリエチレン製、文字は赤色

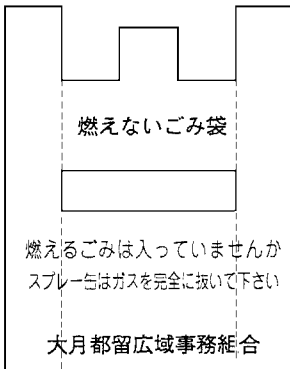
燃えないごみは入っていませんがプラスチックは燃えるごみです

大月都留広域事務組合

10月1日からの
ごみの出し方

1. 指定袋で出してください。(商店で出している買物袋は、燃えるごみ袋の中袋として使用できません。)
2. 新聞紙・ダンボール・アルミ缶等資源ごみ回収の対象品目は、資源ごみ回収にまわしてください。
3. 単一のごみで指定袋に入らないものは、粗大ごみとして別に出してください。
4. これまでの「大月都留衛生組合」の指定袋は、燃えるごみ袋として使用してください。
5. 燃えるごみ・燃えないごみの分別をしっかりしてください。
6. ごみ袋の指定は、ステーションへ出すごみについて行います。

(燃えないごみ袋)



※無色・透明・ポリエチレン製、文字はみどり色

燃えるごみは入っていませんがスプレー缶はガス完全に抜いて下さい

大月都留広域事務組合

試行袋は無料配布

試行袋は、9月中旬に自治会を通じて、各家庭に配布します。

一世帯当たり、燃えるごみ袋30枚、燃えないごみ袋15枚を無料で配布します。

期間中、試行袋が足りなくなつたときは、自治会へ申し出て下さい。

9月28日までに試行袋が届かない場合は、保健環境課までご連絡ください。

ごみ袋指定の目的

ごみの分別をしっかりとって、収集や処理業務の安全と効率化を図ります。

袋の統一により、ごみステーションの美化を図るとともに「ポイ捨て」を防ぎます。

排出するごみに対して責任をもつていただきます。

ごみの減量努力をお願いします。

◇ごみ袋の指定は、「都留市ごみ減量化推進協議会」の意見を聞いて進めています。

問合せ先

大月都留広域事務組合

☎(43)8321

保健環境課環境係

増えるごみ、不十分な分別

健康まつり記念講演

今年の健康まつりのテーマは、成人病予防PRTI「糖尿病」です。漫画家・富永一朗氏をお迎えして、『明るい糖尿病体験談』と題しての記念講演を開催します。

また、健康まつりの詳細につきましては、十月号の広報でお知らせします。

富永氏は、一九二五年四月二十日京都生まれ。テレビの「お笑いマンガが道場」でスター漫画家になり、「ポンコツおやじ」「チンコロ姐ちゃん」などの代表作があります。

※入場無料

日時 10月15日 午後1時
場所 文化会館 4階大ホール

